

# 弥三郎節

青森県西津軽地方民謡

□□□

一ツアエ 木造新田の相野村  
村のはずれっこの 弥三郎エ (ありや 弥三郎エ)

二ツアエ 二人三人と 人頼んで  
大開万九郎から 嫁もらた

三ツアエ 三つ物揃えて もらた嫁  
もらて見たどこ 気に合わぬ

四ツアエ 夜草朝草 欠かさねど  
遅く戻れば 叱られる (これも弥三郎エ)

五ツアエ いびらはじかれ にらめられ  
日には三度の 口つもる

六ツアエ 無理な親衆に 使われて  
十の指こから 血こ流す

七ツアエ なんぼ稼いでも 働いても  
つける油こも つけさせね

八ツアエ 弥三郎家こばかり 日こ照らぬ  
もがわの林こさも 日こ照るね (ありや弥三郎エ)

九ツアエ この親たちや みな鬼だ  
ここさ来る嫁 みな馬鹿だ

十ツアエ となり知らずの ぼた餅こ  
嫁さ喰 (か) せねで みな隠す

十一ツアエ 縁のなない物 是非もない  
泣きの涙で 暇もらたい (ありや弥三郎エ)

# 弥三郎節

青森県西津軽地方民謡

□□■

一ツアエ 木造新田の 相野村  
村のはずれっこの 弥三郎エ

(ありゃ 弥三郎エ)

二ツアエ 一人三人と 人頼んで  
大開万九郎から 嫁もらた

三ツアエ 二つ物揃えて もらた嫁  
もらて見たどこ 気に合わぬ

四ツアエ 夜草朝草 欠かさねど  
遅く戻れば 叱られる  
(これも弥三郎エ)

# 弥三郎節

青森県西津軽地方民謡



五ツアエ いびらわれはじかれ  
にらめられ

日には三度の □□もる

六ツアエ 無理な親衆に使われて  
十の指こから 血こ流す

七ツアエ なんぼ稼いでも働いても  
つける油こも つけさせね

八ツアエ 弥三郎家こばから  
日こ照らぬ

もがわの林こさも 日こ照るね

(ありや弥三郎エ)

# 弥三郎節

青森県西津軽地方民謡

九ツアエ ここの親たちや  
みな鬼だ

ここさ来る嫁 みな馬鹿だ

十ツアエ となり知らずの

ぼた餅こ

嫁さ喰かせねで

みな隠す

十一ツアエ 縁のない物

是非もない

泣きの涙で 暇もらた

(これも弥三郎エ)

End